



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



Team Wakayama News

【第45号①:令和元年10月1日発行】



『いきいき茨城ゆめ国体』開幕！！

令和元年9月28日(土)、笠松運動公園陸上競技場(茨城県ひたちなか市)において、第74回国民体育大会総合開会式が行われました。和歌山県選手団は、旗手の中野智稀選手(ソフトテニス競技・少年男子)を先頭に、これから始まる本大会に向けて強い意気込みが感じられる堂々とした行進を行いました。



開会式の前に選手団激励会が行われ、県選手団副団長の宮崎教育長と選手団顧問の岸本県議会議長から激励の言葉をいただきました。

最後に高橋総監督の「チーム和歌山がんばるぞ！」の掛け声で、選手団全員が大きな声を出して、士気を高めました。



入賞おめでとうございます！！

- レスリング競技

成年男子	フリースタイル74kg級	三輪優翔選手(日本体育大学3年)	2位(7点)
少年男子	フリースタイル71kg級	中村緋水選手(和歌山北高等学校3年)	5位(2.5点)
	フリースタイル92kg級	房本拓選手(和歌山北高等学校3年)	5位(2.5点)

- トライアスロン競技

成年女子		西岡真紀選手(日本郵便株式会社)	7位(2点)
------	--	------------------	--------

- ソフトテニス競技

成年男子		増田健人選手(和歌山県教育庁)	4位(25点)
		塩寄弘騎選手(和歌山県庁)	
		古賀崇史選手(きのかわ支援学校(教))	
		花田周弥選手(和歌山県庁)	
		上岡俊介選手(同志社大学2年)	

- 相撲競技

少年男子		坂前由基選手(箕島高等学校3年)	2位(35点)
		花田秀虎選手(和歌山商業高等学校3年)	
		和田優貴選手(箕島高等学校3年)	
		五島雅治選手(箕島高等学校2年)	
		田村吏玖選手(箕島高等学校1年)	



選手・監督からのコメント

○三輪優翔選手(レスリング)

2位入賞することができました。この結果が今の実力なので、しっかり受け止めて修正し、もう1つ上にいけるよう努力していきます。

○中村緋水選手(レスリング)

インターハイでは5位だったので、気持ちを切り替えて迎えた初めての国体でしたが、同じ5位入賞で終わってしまい悔しかったです。

○房本拓選手(レスリング)

去年の福井国体ではラスト5秒で逆転負けをしてしまい、非常に悔しい思いで1年間練習してきました。2回戦は先制されながらも粘り強い気持ちで勝つことができました。入賞できてホッとしています。

○西岡真紀選手(トライアスロン)

イメージしていたレースプランが崩れてしまいましたが、練習してきたことを信じて最後まで全力を尽くして頑張りました。7位入賞することができ、自分の力が通用すると分かってとても嬉しかったです。来年は崩れてしまったプランを修正し、イメージ通りのレースを展開したいです。

○児玉聡美 成年女子監督(トライアスロン)

7位に入賞し、大躍進してくれてとても嬉しいです。バイクは第1集団につけず少し心配しましたが、得意のランで巻き返し、予想以上の結果を出してくれました。

○上岡俊介キャプテン(ソフトテニス)

去年優勝したものの強豪チームがひしめく非常に厳しいゾーンでの対戦でした。初戦の愛知戦は相手の勢いに劣勢でしたが、自分たちでチームの空気を作り勝つことができました。初戦を突破できたことで、続くアウェーの茨城戦やさらに埼玉戦では落ち着いて良いプレーを心がけ、思うようなプレーができました。来年も優勝目指して頑張ります。

○山下俊之 成年男子監督(ソフトテニス)

選手をはじめサポートメンバーが一丸となって精一杯よく頑張ってくれました。素晴らしいチームです。

○花田秀虎キャプテン(相撲)

それぞれが自分の役割を果たして一気にチームが勢いづきました。チーム一体となって勝ち上がったことが良かったです。今大会は1, 2年生が力を発揮してくれたので、負けじと3年生も力を発揮することができました。

○門林三千生 少年男子監督(相撲)

3年生が引っ張ってくれてチームがよくまとまり、1, 2年生も素晴らしい活躍を見せてくれました。決勝では負けてしまいましたが、自分たちの力を精一杯出すことができたことは今後の人生に繋がると思います。

